



心に豊かさを灯す社会の創造～科学・技術を適切に組み入れて～

令和4年度における活動実績・成果の概要

東北大学知のフォーラムにおいて、東北大学電気通信研究所・環境科学研究科・東京エレクトロン株式会社と連携して、「人の幸せを大切にするIoT社会のデザイン」および「デジタル×サステナブル社会のデザイン」というプログラムを実施した。

①協働ワークショップ 2022年9月27日～30日および10日に、東北大学の文系・理系の若手研究者・学生と東京エレクトロンの社員を対象とするワークショップを開催した。東北大学の学生と若手研究者を対象とするワークショップを対面及びオンラインで開催しました。このワークショップでは、デジタル技術とサステナビリティをテーマに、いかにしてデジタル技術が人間のwellbeing(幸福、よい状態)に貢献できるかを議論し、これからの技術社会を適切に予想し、評価しながら、社会とITを協動的に発展させていく方法を獲得することについて議論が重ねられた。

②社会実装プロジェクト 地域企業のサステナビリティ (SDGs) 経営とDX経営を両立させるような実践的モデル及びKPIの探索を行った。(6回) 東北の地域を中心にこの分野で先進的な取り組みをしていると認知される企業の担当者をゲスト講師に招き、異業種横断的な形で参加者とともに学びを深めた。

③市民フォーラム 2022年6月4日に萩ホール会議室で開催された。今後のIoTやAI技術を通して目指すべき人の幸せとは何かをより広く市民の皆様にも再度問うと共に、我々が標榜する「場」について工学、人文学の専門家から紹介してもらい議論した。コロナ渦の影響と急速に加速したバーチャル世界の台頭の中でダイナミックかつ急速に変容しつつある「人の幸せ」は深遠なテーマであり、これを近未来の科学技術の道標とするために、引き続き議論がなされることが確認された。

④国際シンポジウム 2月2日ー3日に仙台国際センターで「DX×半導体×モノづくりが切り拓く私たちの未来」が開催され、その①セッションとして「デジタル×サステナブル社会のデザイン」について、講演と討論、ポスター発表がおこなわれた。より高解像度な未来のデザインたねにいかなる課題があるか議論された。

